

理科・環境教育助成 成果報告書

第 1 回 期間：2004年11月～2005年10月

氏名： 溝田 浩二 所属： 宮城教育大学附属環境教育実践研究センター

課題名： “昆虫少年”復活のためのWebコンテンツの開発

1. 課題の主旨

子どもが昆虫に接する機会が激減している。現代の子どもたちはペットとして昆虫を購入したり、養殖された昆虫をつかみ取りすることはあっても、学校の帰りに名前のわからない昆虫を捕まえる機会はほとんどない。昆虫採集を悪とみなす風潮もあって、今や昆虫少年・少女は絶滅寸前の危機にある。地球上の生物種の7割を占める昆虫は、今も昔も、子どもたちを自然に誘う素敵なナビゲーターである。野外で昆虫を探したり、観察したり、捕まえたり、飼育したり、標本を作ったり、図鑑で名前を調べたり、写真を撮ったり・・・という五感をフルに使った野外体験を通して、子どもたちは昆虫の世界の楽しさ、自然の素晴らしさを実感することができる。今回開発を行なったWebコンテンツ「あつまれ！21世紀の昆虫少年・少女」を活用することで、子どもたちの自然に対する好奇心が喚起され、絶滅の淵に立たされている“昆虫少年・少女”の復活に貢献できると考えている。

2. 活動状況

● 2004年10月～2005年3月

Webコンテンツの作成および公開

● 2005年4月15日

気仙沼市立面瀬小学校3年生児童64名を対象とした教育実践①

● 2005年5月6日

気仙沼市立面瀬小学校3年生児童64名を対象とした教育実践②

● 2005年6月30日

気仙沼市立面瀬小学校3年生児童64名を対象とした教育実践③

● 2005年7月11日

気仙沼市立面瀬小学校3年生児童64名を対象とした教育実践④

● 2005年7月24日

西多賀市民センター主催の「子ども教室1・2・3！青葉の森で昆虫をみつけよう」において、園児・児童16名を対象とした昆虫採集・昆虫標本作製講座を実施

● 2005年10月5日

気仙沼市立面瀬小学校3年生児童64名を対象とした教育実践⑤

3. 結果

- 作成した Web コンテンツ「あつまれ！21世紀の昆虫少年・少女」は以下の URL で現在、公開しています (<http://mizotalab.miyakyo-u.ac.jp/database/sample/>)。
- 面瀬小学校における実践活動の報告は「国際環境教育研究紀要第4集」(資料1)をご覧ください。また、活動の詳細な様子に関しては、面瀬小学校3年生が運営しているホームページ (<http://www.fmfntp.net/~omo/mtp05/3rd/index.htm>) に掲載されています。また、児童に配布した昆虫の分類シートを「資料2」としてあります。
- 西多賀市民センター主催の「子ども教室1・2・3！青葉の森で昆虫をみつけよう」における活動内容は、同封の CD (=「資料3」) に入っている写真をご覧ください。また、昆虫標本の作製を行なった際に配布した資料を「資料4」としております。子どもたちが書いた感想文は「資料5」をご覧ください。

4. 今後の課題と発展

面瀬小学校は現在、アメリカテキサス州のカリスバーグ小学校とインターネットを介して、活発な交流を行なっています。今回私たちが作成した Web コンテンツ「あつまれ！21世紀の昆虫少年・少女」は英語版も作成することで、アメリカの少年たちも利用することができるようになる。今後は、海外の子どもたちも利用できるような Web ページを作り上げていきたいと考えています。

5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

- ・現段階ではまだ発表を行なった論文はありませんが、来年3月を目処に環境教育学会誌「環境教育」に投稿できるよう論文の作成を進めています。
- ・今回の助成をいただき、大変ありがたく思っています。お陰様で、子どもたちに書籍や採集道具を十分に与えることができ、昆虫少年・少女の育成に貢献できたと確信しています。本当にありがとうございました。